



基本理念

相手の立場に立つ

令和8年1月発行

118号

協和中央病院グループ広報誌

はぐるま



本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

午(うま)年生まれの年男・年女です

目次

- 新年のごあいさつ 2~3
- 看護部通信 4
- 医療技術部通信 5
- 事務部通信 6
- 恒徳会だより 7
- 外来診療担当医表／編集後記 8

ごあいさつ



社会医療法人恒貴会
理事長

黒川 徳一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃より地域医療・介護・福祉に深いご理解とご協力をいただいております地域の皆様、職員の方々に心より感謝申し上げます。

年頭にあたり、昨年に続いて3つの目標をあげたいと存じます。

一つ、救急患者様の受け入れ・適切な対応に務める事。二つ、患者様ご家族様からのご要望に沿いつつ、より良い医療介護福祉サービスが提供できるように多職種連携を深める事、三つ、達成目標を多職種で共有し、効率的に結果を出せるように協働すること。

昨年も同様の目標をあげておりますが、振り返って達成度が明確ではなかったように感じます。今年は目標を数値化するなど、客観的な“見える化”を図り、一人ひとりが振り返りの際に達成感を持てる形にしてゆきたいと思っております。

さて、最近の社会変化を眺めていて、以前よりますます時間を有効に使い、効率的に仕事をこなし、自分らしい生活時間を確保しようとする方がどんどん増えているように感じます。自分の精神世界を内観した際に、どんな時に自分は嬉しいのか、楽しくて生き生きと過ごせているのか、どんな時に落ち込んでしまうのか、気分転換には何が良いのだろうか。自分自身を“知る”うえで、考え方の良い癖悪い癖をみつめ、価値観の偏りに振り回されていないか、少し振り返るだけでも驚きの発見があるのかもしれません。ちょっと話が飛びますが、幕末の有名な長州藩士の高杉晋作は、“おもしろき こともなき世を 面白く なせるものは 心なりけり”と詠んだ歌があるそうです。変化の激しい時代にあって、しっかりした心の軸が持ち続けられるようにしたいものです。

人と人、そして自分との対話。コミュニケーションを大切に、相手の立場に立って考える理念を思い起こしつつ、今年も皆様と一緒にお仕事させていただきたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。

新年のごあいさつ



社会福祉法人恒徳会
理事長

久野 貴俊

新しい年を迎えるにあたり、皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、当法人の活動に対し温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。利用者の皆さま、ご家族の皆さま、そして地域の皆さまに支えられ、一年を無事に終えることができました。

昨年は、社会全体で物価高騰の影響が続き、福祉現場においても厳しい状況が続きました。特に食材価格の上昇は給食提供に大きな負担となり、栄養バランスを維持しつつ食の楽しみを損なわないために、献立の工夫や仕入れ方法の見直しが必要となりました。食事は利用者の皆さまの健康と生活の質に直結する大切な支援であり、調理スタッフをはじめ職員全員が知恵を出し合いながら取り組んでまいりました。

また、介護機器や厨房設備、空調設備、送迎車両など、利用者の安全を支える設備の更新にも、価格高騰や調達遅延の影響が及びました。限られた資源の中でも、安全性の確保を最優先に、計画の再検討を行いながら必要な投資を着実に進めてまいりました。

一方で、人材不足の課題も依然として続いております。福祉人材の確保が難しい中でも、職員一人ひとりが互いに支え合い、利用者の皆さまの生活を守るため力を尽くしてくれました。その姿勢は当法人の誇りであり、地域の安心に大きく貢献しています。本年は、働きやすい職場環境の整備や研修体制の充実、処遇改善への取り組みを引き続き進め、職員が安心して長く活躍できる法人づくりを一層推進してまいります。

当法人はこれからもその人らしく暮らすことを支えられるよう、質の高いサービスの提供を目指してまいります。地域包括ケアの推進、障がい理解の促進、防災・減災に向けた協働など、地域との連携を深めながら、地域に開かれた法人としての役割を果たしていきたいと考えております。

最後に、皆さまにとりまして本年が健やかで穏やかな一年となりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、当法人も利用者の皆さまに安心と笑顔をお届けできるよう、職員一同努めてまいります。本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



協和中央病院
院長

長 弘之

新年のごあいさつ

新年おめでとうございます。

昨年は米価格の上昇に象徴されるように、物価高をひしひしと感じる1年でした。医療機関にとっても大変厳しい状況で、物価高騰に伴い電気、水道などのインフラはもとより医療機器や診療材料も値上がりしていますが、病院の診療報酬はほぼ据え置きのままのため急性期病院の6割以上が赤字となっています。この状況に政府から支援の動きも出てきていますが、まだまだ厳しい状況です。医療・介護に限りませんが、いわゆるエッセンシャルワーカーの処遇改善が待ったなしの所に来ていと感じています。

当院としては、西部メディカルセンターとも連携しつつ地域の急性期医療への貢献を強化し、同時に近隣のクリニックや介護施設との連携も大切にしたいと思っています。高齢の患者さんが多いため、急性期治療が終了してもすぐに自宅に戻れる方ばかりではありません。その後の介護や生活のご相談も含めて地域に密着した病院として頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。



協和南病院
院長

小笠原 正彦

年頭所感

昨今、日本は超長寿社会を迎えています。超高齢化社会により、多臓器疾患等で病態が複雑化し、多種類の治療が必要となっています。私達は全ての患者様が満足して頂ける治療を職員一同目指しております。

一方、慢性期医療協会を長年牽引された武久洋三先生の書籍『地域ごちゃまぜ病院をつくろう』が2025年に発売され、高齢化社会で多臓器疾患を有する場合に遭遇する可能性があり、その対処・治療の無駄のない進歩が益々進んで行くものと思われます。

更に、大正生まれで100歳前後の方々も近年ご活躍しておりますが、その昔人生50年と言われた時代から人類は飛躍的にiPS(再生医療)の発見・進歩等により喫緊でパーキンソン病、認知症、心疾患等の劇的回復が望まれております。

当院は高齢化社会の中、iPS(再生医療)等も視野に多疾患ごちゃまぜを無駄なく解決・治療していければと考えております。本年も宜しくお願い致します。



協和ヘルシー
センター
施設長

中原 昇

明けましておめでとうございます

入所者様、通所での施設利用者様、そして職員一同みな大過なく新年を迎えることができました。

社会は高齢化が進み、ますます介護サービスの需要も増えてくることと思われます。老老介護、独居老人など耳にする機

会も増えてきました。どうぞお困りごとがあるときは気軽にご相談ください。また当施設は協和中央病院に併設していますので、急変時なども安心してご利用いただけます。地域により良い介護サービスを提供できるよう職員一同努力してまいりますので、今年もよろしくお願い申し上げます。



大和クリニック
院長

木村 洋輔

年頭ごあいさつ

明けましておめでとうございます。旧年中は温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

社会情勢がいかに変化しようとも、「住み慣れた家で最期まで」という願いは変わりません。当院が何より大切にしているのは、その想いを叶える「在宅緩和ケア」です。がんや難病、進行した認知症、あるいは酸素や胃ろう等の管理

が必要な方でも、痛みや不安を和らげることで、穏やかな時間を過ごすことができます。私たちは単に医療を届けるだけでなく、ご本人と、その傍らにいるご家族の「心の支え」でありたいと願っています。

「この家で過ごせてよかった」。そう心から思える瞬間を守れるよう、スタッフ一同、温かい気持ちで皆様を支え続けてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



小栗判官まつりに救護班として初参加しました

協和中央病院 看護管理室
看護師長 木城 博美



令和7年12月7日、協和ふれあい広場にて「小栗判官まつり」が開催されました。昔から協和地域に伝わる小栗判官の伝説を再現するイベントで、伝統芸能の披露や体験コーナー、地元の農産物販売などが行われ、多くの来場者で賑わいました。

今回は、当院として初めて救護活動に参加いたしました。穏やかな天候に恵まれた一日で、体調不良への対応や軽いけがへの応急処置、救急搬送の手配などを行いました。幸い重症者はおらず、来場者の皆さまが安心してイベントを楽しめる環境づくりの一助となりました。また、来場者の健康相談や受診相談も実施し、地域に開かれた病院としての役割を果たすことができたと感じております。

今後も地域活動に積極的に参加し、地域医療の一端を担ってまいります。



慢性期医療学会に参加して

協和南病院
看護師 服部 圭子

11月6・7日の2日にわたり、大阪府大阪市で開催された第33回日本慢性期医療学会に参加しました。当院では、「身体拘束最小化を目指して」というテーマで発表しました。

身体拘束は患者様の安全上、事故・転落予防として解除が難しい状況でありましたが、患者様に関わる多職種で委員会を立ち上げマニュアルの再構築、拘束ラウンドの実施、研修会を開催し、職員間でのカンファレンスで情報共有を行いました。その結果、拘束率は46%から27%へ減少につなげることができました。一方、再拘束や解除に至らないケースもあり、今後の課題もみえてきました。

学会では、さまざまなテーマを元に各病院・施設で取り組まれたことが発表され、とても勉強になりました。

今回の経験を元に今後の業務に活かし、良質な看護・介護の提供を目指し取り組んでいきたいと思ひます。



全国老人保健施設大会に参加して

協和ヘルシーセンター
看護係長 内山 千尋

今回、山口県で開催された全国老人保健施設大会に2日間参加してきました。

全国から医師や看護師、介護福祉士、支援相談員など様々な職種の方が、業務の効率化を図るために工夫した事や利用者様個人の事を考慮した援助方法などの発表が行われました。

当施設では、「食を通して寄り添うケア 一元気を取り戻して」という演題で、自立して生活されていた90代の利用者様が、食事摂取量低下と共に日常生活動作(ADL)の低下がみられ寝たきり状態となってしまうことが、職員が体位交換や食事・水分摂取の時間など多く声をかけ、少しでも食事ができるように嗜好品を考慮して丁寧に関わり続けたところ、徐々に食事量増加しADL拡大され、元気に過ごされるようになったという奇跡的な経過について報告しました。

今後も、利用者様一人一人に寄り添い、安心して生活して頂けるよう職員一同力を合わせていきたいと思ひます。



患者さんへ届ける冬の贈り物



2025年12月、待合室にクリスマスツリーが登場しました。職員のお子さま方が飾り付けを手伝ってくれたおかげで、ツリーには笑顔がたくさん詰まっています。完成したツリーの前では、患者さんやご家族が写真撮影を楽しむ姿も見られ、院内には穏やかな時間が広がりました。皆さまの気持ちが少しでも明るくなるようお願いを込めて準備したツリーが、冬の日々を温かく彩る存在となれば幸いです。



リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科 科長 須田 浩二

当科の役割

当院に入院または外来通院されている患者様、ならびに地域住民の皆様の健康とQOL(生活の質)の向上を目指し、急性期・回復期・生活期まで一貫したリハビリテーションを提供します。



言語聴覚療法の様子



作業療法の様子

主な提供サービス

◆理学療法

理学療法(Physical Therapy)とは、けが・病気・高齢などによる身体機能の低下に対して、運動療法・物理療法・日常生活動作練習などを用いて動作能力の回復・維持・改善を図るリハビリテーションです。理学療法士が専門的に支援します。

◆作業療法

作業療法(Occupational Therapy)とは、病気やけが、障害などにより生活に支障がある方に対して、日常生活動作(食事・着替え・入浴など)や仕事・趣味、社会参加に必要な活動(=作業)を通して、生活機能の回復・維持・向上を図るリハビリテーションです。作業療法士が専門的に支援します。

◆言語聴覚療法

言語聴覚療法(Speech-Language Therapy)とは、ことば・聞こえ・飲み込みに問題を抱える方に対して、コミュニケーション機能や嚥下機能の改善・維持を目指して行うリハビリテーションです。言語聴覚士が専門的に支援します。

当科の特徴

●チームで支えるリハビリ

多職種カンファレンスを定期的実施し、患者様の目標や状況を共有することで、より良い退院支援につなげています。

●一人ひとりに合わせたリハビリ

疾患・体力・生活背景に合わせたオーダーメイドのリハビリ計画を作成し、患者様一人ひとりに最適な支援を提供します。

●地域とつながるリハビリ

当院は「茨城県指定地域リハビリテーション広域支援センター」として、市町村や関連機関・施設と協力しながら、地域全体のリハビリ支援に取り組んでいます。

(地域リハ連絡協議会の設置、市民向け講演会、リハビリ相談、市町村事業や特別支援学校への支援、災害リハビリテーション体制の構築などに取り組んでいます)



理学療法の様子

【主な設備】

広々とした入院リハビリ室(約400㎡)や外来リハビリ室(約180㎡)をはじめ、言語聴覚療法室を3室備え、安心してリハビリを行える環境を整えています。

【スタッフ構成】

・理学療法士(PT) 14名	・言語聴覚士(ST) 4名
・作業療法士(OT) 8名	・看護師 1名



最後に

病院でのリハビリだけでなく、地域での暮らしがより豊かになるよう、私たちは日々支援に取り組んでいます。何か気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。

※ご相談は当院ホームページ内の「リハビリテーションのご案内」をクリックしていただき、その中のメールフォームから相談ができます。もちろん電話でも結構です。(直接の来院はあらかじめご予約が必要です)

2025年秋の叙勲受章者が2025年11月3日に発表されました

県内関係者は、旭日章が20人、瑞宝章が71人の計91人、
この中に当院元事務部長、検査技師長の門馬敏郎さんが受章されました。



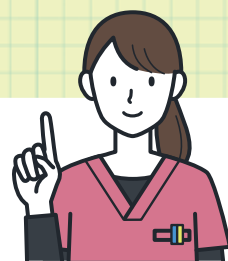
「瑞宝双光章を受章して」

協和中央病院 事務部 門馬 敏郎

このたびの受章は、臨床検査技師として四十年余にわたり地域医療の発展に尽力してきた歩みを評価いただいたものであり、誠に光栄に存じます。病院業務改革や精度保証認証取得、学会や研修会の開催など、多くの仲間と共に取り組んだ成果が形となったことに深い感慨を覚えます。協和中央病院創設者の故久野恒一先生をはじめ、支えてくださった同僚、家族、病院関係・地域の皆様への感謝を胸に、今後も後進育成と医療充実に努めてまいります。



病院へのご意見に関するご回答



面会をもう少し緩和してほしい。

回答 家族のみ、1日2名まで、となっておりましたが2025年5月より 希望者、人数制限なしに緩和となりました。尚、面会時間は15時～17時 中学生以上に限る、には変更はありません。

診療明細の字をもっと大きくできないでしょうか。小さすぎて見えません。老人の方が多いので、見やすい大きさにしてほしいです。

回答 システムの関係上、文字を大きくすることができなくご不便をおかけいたします。ご希望される方には拡大コピーをさせていただきます。

BS放送を入れてほしい。

回答 今まで視聴ができませんでしたが、2025年11月よりBS放送が視聴できるようになりました。

血液検査を行っておりますが、結果表を見ると、日本語で書かれていないので、項目毎に訳して記入もされるとありがたいです。腎機能などが、どれかと、わかりやすくなればいいと思います。

回答 採血検査結果について、詳細にご説明がなくわかりにくかったと思います。各診療科には「検査項目一覧表」がございますので必要な患者様は医師または看護師、外来スタッフへお声かけ下さい。「検査項目一覧表」をお渡しいたしますので、参考にしてください。申し訳ありませんでした。

呼び出しの時、受付番号で呼んでほしい。個人情報だだもれ。

回答 現在、お名前での呼び出しを希望されない方は番号でお呼び出しをすることも可能です。職員に申し出いただき受付票を確認できるようお待ち下さい。尚、間違い防止のため診察室や検査、会計時にはお名前を確認させていただきます。
(2026年度には番号でのお呼び出しに変更する計画で進めております)

人間ドックを受けましたが皆さんの対応が素晴らしいです。(全員)今まで受診したどの病院より良かったです。気持ちよく人間ドックをすることができました。ありがとうございました。

回答 感謝のお言葉ありがとうございます。安心して受診できますようこれからも患者様に寄り添った対応を心掛けてまいります。



恒徳会だより

すみれ園

すみれ園祭初の試み

生活支援員 内田 あゆみ

今年のすみれ園祭は晴天に恵まれ屋外で開催することが出来ました。モンキーエンターテイメント様の4匹の小型の猿を迎え、猿芸をメインイベントとして行いました。お猿の身長よりも遥かに高い竹馬の操作や、マントを使った瞬間移動芸、障害物を器用に飛び超える様子等を間近で見たご利用者からは「すごい!可愛い!」「飼ってみたい」「凄く良かったよ」と拍手と歓声が上がり喜んでおりました。中には感極まりボロボロと涙を流す方も居りました。猿芸の後はふれあいの時間が設けられ記念撮影やお猿さんに触れる体験がありました。

手の届く距離に猿が来て肩や膝に乗せて写真を撮るご利用者もあり「撮ってもらった写真が欲しいです」と職員にお願いする様子も見られ素敵な笑顔の利用者を写真に撮ることができました。猿を触ったご利用者からは「毛がフサフサ!小さくてかわいい」と初めて触る感触に驚き感動されていました。猿芸鑑賞後の昼食は園内に戻り季節を感じられるあんこうのから揚げや刺身の盛り合わせ、ちらし寿司などが詰められた色鮮やかなお弁当が振舞われ、ご利用者の笑顔を沢山見ることができました。

これからもご利用者の気分転換になるような楽しい行事を計画してまいります。



オセロ・輪投げ大会

堇授園

生活支援主任 片岡 訓幸



去る令和7年11月12日に、茨城県心身障害者福祉協会主催による「第15回オセロ・第3回輪投げ大会」が開催され、当園からオセロ大会に1名、輪投げ大会に2名のご利用者が参加しました。

当日、会場には県内各地から集まった参加者の笑顔があふれ、真剣勝負と温かい交流の場となりました。オセロ競技では一手ごとに形勢が変わり、最後まで勝敗が読めない展開に周囲も手に汗握りました。輪投げでは、的に輪が入った瞬間に大きな歓声が響き、惜しくも外れた時には笑い声が広がり、会場全体が和やかな雰囲気に包まれました。

大会では輪投げ大会に参加されたご利用者が3位入賞を果たすなど、素晴らしい成績を収めました。また、惜しくも予選敗退してしまったご利用者からは

「また挑戦したい」、「次はもっと上手になりたい」との声が聞かれ、仲間とともに挑戦する楽しさを改めて感じる機会となりました。来年はさらに練習を重ね、より上位を目指すとともに、参加すること自体を楽しみ、交流の輪を広げていきたいと思います。



外来診療担当医表 令和8年1月

() 専門科目

診 療 科			月	火	水	木	金	土
脳 外 科	午 前	1	(予約) 長	黒 川	(予約) 黒 川	(予約) 黒 川	長	黒 川
		2	三 輪	長	松 本	第2、第4 五味		長
	●土曜日の脳外科は予約と紹介患者様のみとさせていただきますのでご了承ください。							
外 科	午 前	1		佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤
		2	藤 田	藤 田	藤 田	藤 田	藤 田	
		3	宮 原	宮 原	泉	宮 原	宮 原	
内 科	午 前	1	玉 野	玉 野	玉 野	高 村	海老澤 (漢方外来)	担当医
		2	正 和 (循環器)	阿治部 (消化器)	木 村	和 久 (循環器)	磯 田	種ヶ島
		3	福 島	磯 田	阿部田	福 島	犀 川 (内分沁内科)	(予約)新 保 (循環器)
		5	岡 田 (内分沁内科)	北 川 (循環器)	磯 田	阿治部 (消化器)	高 村 (リウマチ)	
		7	小 林 (呼吸器)	佐 多 (呼吸器)		佐 多 (呼吸器)	酒 井 (呼吸器)	
	午 後 (予約のみ)	1		北 川 (循環器)		小笠原 (神経内科)	犀 川 (内分沁内科)	
		2	大 場 (循環器内科)				坂 東 (呼吸器内科)	
		3	岡 田 (内分沁内科)					
	●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
	専 門 外 来	午 後		加 藤(土) (漢方外来)				
小 児 科	午 前	1	(予約) 中 原	(予約) 長 尾		(新患予約) 中 原	(予約) 中 原	自治医大交代制
		2		(予約) 中 原				第1 (予約) 中 原
	午 後	1	(予約) 中 原			(予約) 中 原		
		2	河 口					
整 形 外 科	午 前		藤 田			藤 田	萩 原	第1、3、4、5 木村
	●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。							
皮 膚 科	午 前			山 口			原	
	午 後			山 口			原	
泌 尿 器 科	午 前		植 松	別 納		神 原	植 松	
	午 後		植 松				植 松	
歯 科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1	串 田	串 田	串 田	串 田	大谷津	串 田
		2	大谷津	大谷津	大谷津	大谷津	土 肥	自治医大交代制
		3	尾 田	保 坂	杉 浦	保 坂	保 坂	保 坂
		5			保 坂	第1、3 仙名		
	午後	1	串 田	串 田	串 田	串 田	大谷津	
		2	大谷津	大谷津	杉 浦	大谷津	土 肥	
		3	尾 田	保 坂	保 坂	保 坂	保 坂	
専 門 外 来	午前	1	第3 野口				第1、3 森	

※受付時間《午前の部》

月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00
水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00
歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00

※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。

※診察の際は、マイナンバーカードもしくは
保険証をご提出ください。

《午後の部》皮膚科・泌尿器科 (13:00~15:30) 診療開始 14:00

内科 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

小児科 (14:00~16:30) 診療開始 14:30

*小児科(木)・中原医師予約 (13:00~16:30) 診療開始 14:00

歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話で
お問い合わせください。

安心が地域に根ざす 社会医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

・脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
・リハビリテーション科・麻酔科
・歯科・歯科口腔外科
茨城県筑西市門井1676番地1
電話0296-57-6131(代)
E-mail: kyowa@kokikai.com

療養病床

協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1
電話0296-57-5133(代)
E-mail: minami@kokikai.com

介護老人保健施設

協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井1669番地2
電話0296-57-6030(代)
E-mail: healthy@kokikai.com

大和クリニック

茨城県桜川市大國玉2513番地12
電話0296-58-7788(代)
E-mail: yamato@kokikai.com

訪問看護ステーション

愛美園

茨城県桜川市大國玉2513番地12
電話0296-20-6780(代)
E-mail: aibien@kokikai.com



障害者支援施設

すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
電話0296-57-5125(代)
E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

堇授園

茨城県筑西市門井1687番地1
電話0296-57-3400(代)
E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

障害者支援施設

桃香園

茨城県桜川市大國玉2513番地10
電話0296-58-7870(代)
E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム

恒幸園

茨城県筑西市向川澄98番地1
電話0296-57-7268(代)
E-mail: koukouen@kohtokukai.jp

人間ドック・企業健診

健康医学管理センター

茨城県筑西市門井1676番地1
(協和中央病院 新館4階)
電話0296-57-9959(直通)



編集後記

新年明けましておめでとうございます。
本年も皆様にとって幸多き一年となりますよう、「何事も馬(うま)〜くいきますように」
心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年末に、内閣制度が始まった1885年以来、
初の女性総理大臣「高市 早苗」第104代総理が誕生
しました。高いリーダーシップを発揮して、医療と福祉
にとって良い政策を出してくれることを、切に願っ
ております。

最後に、はぐるま118号発行にあたり、ご協力を頂
きました皆様ありがとうございました。これから「は
ぐるま」が地域医療・福祉に根差した広報誌となるよ
う、邁進してまいりますので、よろしくお願い致します。
(渡辺)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／黒川徳一

●編集委員／池田玲子 飯泉茂徳 杉田恵美子

細谷みゆき 高松紀平／飯田信宏 渡辺昌彦

〒309-1195 茨城県筑西市門井1676番地1 TEL.0296-57-6131

<https://www.kyowachuo.jp>